平成30年度　近連理事会開催　4月22日(日）本会にて

会活動・ニュース　news

宇治市議会であはき助成制度廃止可決

宇治市「健康生きがい課」から連絡

宇治市議会３月定例会にて２９年度をもって「宇治市あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう施術費助成事業」を廃止するという決定の報告がありました。

宇治市健康生きがい課から２月１６日付で助成事業の中止と新規の募集をしない旨の通知がありましたが残念ながら現実のものなってしまいました。

宇治市では、限りある財源を有効的に活用する必要性からこの事業を廃止し、３０年度以降は「地域や制度で支える高齢者施策」として医療介護連携センターの設置、地域での介護予防活動を支援する補助金など住み慣れた地域で安心して暮らすための環境づくりを進めると言っています。あはき施術も十分に貢献できると伝えましたがこのような結果となりました。京都府内のその他の市町村で施行されている助成制度へ波及しないことを切望いたします。

現在行われている制度の活用推進はもとより適正な助成制度の活用と制度運用による経済性と健康寿命延伸などへの効果のエビデンス構築が大切だと思います。　【保険部長　江田元一】

29 年度府市民健康文化講演会開催

活性酸素と生物の生存戦略～体内のカンブリア紀のメカニズム～
「究極の血管のほぐし方」を教授

３月１８日（日）京都社会福祉会館にて「医者いらずの健康長寿処方箋」というテーマで井上正康先生（大阪市立大学医学部名誉教授、健康科学研究所所長）にご講演いただいた。活性酸素の話からよく噛んで食べることの大切さや､「高血圧の基準を下げると薬が売れる。」ということ、厚労省、製薬会社、経済と医療は密接な関係があること。また、血管の病としてエコノミークラス症候群以外は全て動脈で起こるなどの内容で講演。後半の実技の中でも皮膚を骨に押し付ける「活性酸素流血管マッサージ」は皆さん興味があったようです。

参加された方はやはり健康ということに対していろいろ考えておられるようで、質問が多く大変参考になる講演会でした。

この講演には一般の方４７名、会員２１名が参加されました。

【学術部　北川忠史】

＜中京老人福祉センター　府市民健康教室　（洛中ブロック）＞

７月上旬ともいわれる暖かい３月２９日㈭中京老人福祉センターにて洛中ブロック府市民健康教室が開催されました。南老人福祉センター、上京老人福祉センターに続いて本年度より初めて中京老人福祉センターにて行われ、健康講話はブロック長の私が認知症、転倒予防についてお話させて頂き、演歌やロックの音楽と共に身体を動かしてその刺激を楽しく脳や身体で感じて頂きました。

鍼・マッサージケアでは洛中ブロック外の先生方も２名ご参加下さり、合計１２名の先生方が２６名の受講者に対応しました。高い関心を持って受けられた受講者が身近な治療院の名刺を希望され複数の先生方から受け取ってらっしゃいました。藤井所長からも「大好評でした、また来年も是非お願いします。」とのお言葉を頂きました。参考までに当日使用した資料がございますので、ご興味のお持ちの先生がいらっしゃいましたら吉舎までご連絡下さい。来年度も上記３施設において府市民健康教室を実施し、府・市民の皆様に国家資格者による鍼マッサージの啓蒙活動を継続して参ります。その後１７時より四条烏丸 輝庭㈩(かがやきてい)にて洛中ブロック総会が開催され、本年度の事業報告・来年度の事業予定について意見が交わされその活動について承認を得ました。　会員の平成３０年度も行いますので、積極的にご参加下さい。

【洛中ブロック長 吉舎 定良】

法　制　だより　　今月の報告

1．指導要請

（1）京都市　医務衛生課へ１５件

無免許者による違法広告　３件

無免許者による違法広告、違法業務　１件

有資格者による違法広告　１１件

（2）中丹東保健所へ４件

無免許者による違法広告　１件

無免許者による違法広告、違法業務　１件

有資格者による違法広告　２件

（3）奈良市保健所へ１件

無免許者による違法広告　１件

2．無免許者対策啓発

府市民文化講演会にて啓発チラシ、啓発グッズの配布

◇◇◇　会員の皆様～法制部へ情報提供をお願いします　◇◇◇

無免許業者によるビラやチラシ等の案内、看板、施術等の情報提供を

本会事務所へお寄せください。

TEL 075-803-6078　FAX 075-821-2390

【法制部長　山﨑宣彦】

お知らせ・ご案内　information

【第１回生涯教育講座開催のご案内】

学術部では、平成３０年度最初の生涯教育講座を下記の通り開催いたします。会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ぜひご出席を賜りますようご案内いたします。

記

生涯教育講座内容

講座１（医学教養２単位　臨床４単位）

日　時　６月１７日（日）　１０：３０～１６：１０

場　所　会館２階 会議室

定　員　３０名

1．テーマ　「ピコリナ体験と鍼の製造過程」　受講無料

講　師　セイリン株式会社
国内営業部　京都出張所
山本　悠介　先生他

2．テーマ　「キネシオテーピング」

講　師　ピップ株式会社開発事業部本部マーケティング部マーケティング三課
ピップテーピングマスター　スポーツケアチーフアドバイザー
横部　弘　先生

受講料　午前の部　　無料

午後の部　　会員・学生　１５００円　一般　２０００円（教材費込）

申込み期間　　平成３０年５月１日から６月１４日まで（土日・祝日は休館）
申込み方法　受講希望の方は本会事務所に電話かＦＡＸで
住所・氏名・所属ブロック・使用文字をお知らせ下さい。
（公社）京都府鍼灸マッサージ師会

電　話０７５―８０３―６０７８

ＦＡＸ０７５―８２１―２３９０

※日程・演題は、講師の都合で変更する場合がございます。ご了承ください。

第６７回（公社）全日本鍼灸学会大阪大会へ参加しませんか？

平成３０年６月２日(土)～３日(日)全日本鍼灸学会が大阪で８年ぶりに開催されます。今回のテーマ趣旨は、『健康・長寿を支える鍼灸学』～新たなるエビデンスとナラティブへの挑戦～として鍼灸における臨床の既存のエビデンス総括とナラティブ（NBM）の構築に向けて患者による個別性の高いナラティブ（病の物語や体験、あるいは独自の健康観や信条にもとづく解釈）を重視した鍼灸本来の臨床と研究の在り方へのチャレンジ、あらゆる世代の「治未病」予防医学から、「治已病」疾病治療へ、さらには緩和ケアまで様々な領域と観点から学術を深めるための契機となることを目指すと掲げています。

一般演題は主にポスターセッションとして参加者が研究内容を充分把握できる場とし、実技供覧では、関西圏で発展してきた小児鍼をはじめ、皮内鍼、経絡治療等の「わざ」を披露。上級演題ではテーマに沿った精鋭の研究者の講演が計画されています。会場が二か所に分かれているので移動が大変ですが講演内容を確認して参加頂くことをおすすめします。

ホームページにて詳細が確認できます。　http://taikai.jsam.jp/

（会場）
ハイアットリージェンシー大阪　　森ノ宮医療大学
（参加費）
当日申込み（事前申し込みは終了）
正 会 員　13,000 円　　学生会員　6,000 円　　一　般 17,000 円　　一般学生　8,000 円
（事務局）
大阪府大阪市東成区中本４丁目 1-8
森ノ宮医療学園専門学校

【事務局　江田元一】

＜ホームページリニューアルのご報告＞

広報部ＩＴ委員会では、現行のホームページを会員の皆様がもっと利用しやすく、また、日頃皆様が接している患者さんやイベント等で会の存在を知っていただいた方々にもホームページを覗いていただき鍼灸マッサージについてご興味を持っていただけるように改善してまいりたいと考えております。

一般の方目線での構成で、鍼灸マッサージをもっと知っていただけるようにデザインを一新し、市民講座や健康教室などの府市民健康啓発活動、京都マラソン・丹後ウルトラマラソンなどのスポーツ活動、災害支援活動などの会の活動を広く知ってもらえるようなページになるよう準備しております。

会員の方々には、勉強会や会の活動の情報をより見やすく、申し込みしやすくなるように構成し、対外活動での写真アルバムも作成し、皆さんの写っている写真がダウンロード出来るようなページを作ります。また、近年業界を取り巻く環境の変化は多岐にわたっております。新しい情報をいち早く皆様にお知らせできるようにして双方向のホームページを作ってまいりたいと思います。
６月上旬には新しいホームページに移行できるよう準備しております。

【広報部ＩＴ委員会　戸中照之】

会 員 掲 示 板

かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン２０１８参加報告

４月１５日（日）茨城県土浦市川口運動公園にてかすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン 2018 が開催され茨城県師会霞ヶ浦支部長狩野先生の募集に応じてマッサージケアに参加しました。

前日夜中１１時１７分に JR 神立駅へ狩野先生が迎えに来て下さり、茅葺きのご自宅でゆっくり休ませて頂き美味しい朝食もご馳走になりました。朝８時半雨風の強い中、自動車で送って頂いてケア会場の J:COM スタジアム外野に設置されたテントの中に入ると、強風が運んだ土にあちこちから漏れた雨水が混ざり床面はドロドロでした。

みんなで手分けしてテントの穴をガムテープで塞ぎ、裸足になって床面をタオルで拭き、布団にカバーのビニールを裂いてガムテープで固定し、何とかランナーの方々を迎える準備が整いました。このケアブースは他のマラソン大会と違い

盲人マラソンが開催される関係上盲人の先生方のケア参加が非常に多く、通常なら参加者全体の３割くらいのところ、こちらでは７割強占めてらっしゃいました。

一旦止んだ雨が昼２時頃から３０分程降り、その後いらっしゃるランナーの方々が多数強縮状態となった為、あちらこちらでストレッチと軽擦を繰り返す先生方の奮闘が見られました。茨城県師会伊藤会長、霞ヶ浦支部の先生方、東京からの応援の先生方、盲人の先生方と共に朝１０時から夕方４時まで４００名以上のランナーの方々にケア出来ました。マッサージケア後の懇親会にも少しだけ参加させて頂き、伊藤会長や先生方と親交を深めさせて頂きました。

　忙しくも充実した日でした。運営に当たられた市の職員の方々、伊藤会長、狩野支部長、霞ヶ浦支部の先生方、有難うございました。

【洛中ブロック　吉舎定良】

第 11 回とくしまマラソン視察報告（２０１８．３．２５）

　愛媛マラソンでお世話になった先生のお誘いで、いつも京都マラソンのお手伝いをしてくださる滋賀県の先生と共に視察に行ってまいりました。

　とくしまマラソンは県庁前をスタートし、吉野川両岸を走り、徳島市陸上競技場をゴールとする日本陸連公認コースであります。

　スタート時の気温が 11.9℃、湿度 54％で日中はかなり気温が上がりランナーには暑かったようです。参加者は 46 都道府県と海外 13 か国から 12416 人（男性 9604 人、女性 2812 人）。７時間の競技時間内の完走者が合計 11044 人（男性 8700 人、女性 2344 人）。完走率は 88.9％でした。徳島県鍼灸マッサージ師会のマッサージボランティア施術は第１回から参加されており、施術場所はゴールの陸上競技場から５ｋｍほど南にある、一般の方も入場できるイベントスペース「ランナーズオアシス・後夜祭会場」にあります。ランナー達は送迎バスでこちらへ来て、特産品などを飲食したり、家族や友人とジャグリング、健康エクササイズ、阿波踊りのエキシビジョンなどを楽しんでいました。

　マッサージはランナーに限定され、テント２張りにベッド７床。時間は午後１時～６時まで。１ベッド、３～４名の交代制で、施術時間は約１０分。鍼はなくマッサージとパイオネックスのみでした。ボランティア参加者には２０代の若い先生も数名参加されていましたが、学生はいませんでした。

開始３０分前には施術指導の時間があり、先輩の先生が見本を見せておられました。

ランナー待ち時間が４０分になっているときもありましたが、大勢待っていることもなく、急がされる事もなく、交代の間に阿波踊りを見学させてもらったりと和やかな雰囲気でした。施術者数は約３５名で受療ランナー数が２６４名だとお聞きしました。（例年２００名ほどだそうです）会の名前入りウインドブレーカーやポロシャツで統一感を出し、アピールを上手にされていたと思います。快く受け入れてくださった徳島県鍼灸マッサージ師会の皆様に感謝いたします。

【スポーツケア部　戸中照之】

四国八十八か所

手元にある「四国八十八ヵ所を歩く」の本を購入した日付が２００１年９月９日とある。その頃から興味はあったようである。やりたい事があれば、体力のある内にやっておこうと思い昨年４月１日から長期の休みを取り朝に京都を出て一番札所に昼近くに着いた。

以前に鳴門に観光に来た時にこの寺の肥満鯉に驚いたが、今回も鯉は肥満のままだった。

「生活習慣病」にならないか？とちょっと心配。

１日目は７番札所の十楽寺まで歩きそこの宿坊で泊まる。

２日目は１１番札所藤井寺まで２０km ほどの距離しかないのと天気も良いので寄り道をしていると思い切り迷った。「遍路道保存協会編」の地図帳は「北が上」とは決まっていないのにまだ慣れていなかったのも原因？

３日目は「遍路ころがし」と言われるしんどい１２番札所焼山寺コース。山道のシンドサはあまり感じなかったが、植村旅館までの道のりは長かった。（だらだら書くと１ページに収まらないので省略）

４月に宿舎の関係もあり回り切れなかった札所（三角寺・雲辺寺・大興寺）へ。

８月１０日、山科駅６時３７分発、伊予三島９時５３分着。駅からすぐに登りの道、正午に三角寺に着き、番外札所の椿寺を経て、１７時５分「民宿岡田」に着く。そこの玄関で８０年に近い人生で最も痛いこむら返りを起こし１５分ほど立てなかった。塩分と水分の不足？鍼治療。宿の主人は本当に良い顔（最近、年の行かれた人の顔が段々醜くなる特に政治家と私）をしていたので写真を撮らせてもらう。

１１日６時３０分、雲辺寺へ向け歩き始める。山上の５百羅漢の素晴らしい寺、羅漢の表情をゆっくり、のんびり見ていたい気持ちはあるが時間も気になる。

最後の大興寺参拝後、１５時３０分観音寺まで、炎天下３５℃の道を９時間歩き続けた。歩数は４９５２３歩。当夜は姉の家で１０時間あまり眠り続けた。

遍路道は、一人歩きの外国人も多く、フィンランドの若者の早口の日本語を食事時に聞いていたのも楽しい思い出。

宿舎が取れずテント泊も経験したが、４月初旬の夜中の冷えは半端ではなかった。冬の路上生活者のことが頭によぎる。

８８ヵ所全てにお参りしたが、似たり寄ったりの建物で思い出に残っているお寺はそんなにはない。

巡礼の１日の歩数最多は６３０１２歩。最小は２５３８１歩。電車・路線バスも利用したが合計歩数は１１１８４６８歩。

１年たった今、機会があれば又、廻りたいと思うのはどうしてだろうか・・・・

【洛東ブロック　久保三徳】